



母子健康包括支援センター

あいのわ（愛の輪）通信 8月号



乳幼児健診では どんなことするの？



乳幼児検診は、お子さん(0歳～4歳未満)の身体的発育や言葉の発達、栄養状態や先天的な病気が隠れていないか等、お子さんの健康状態を把握するものです。普段のお子さんの様子や日常生活の中で気になることがあれば、健診の時に気軽にご相談ください。健診の結果、更に相談や受診が必要な場合には専門機関をご紹介します。乳幼児健診のお知らせが届いたら、しっかり健診を受けましょう！

伊江村では年に3回(5月・9月・2月)乳幼児健診を行っています。

今回は9月10日(日)予定です。場所：医療保健センター(診療所3F)

| | 身体測定 | 貧血検査 | 歯科検診 | 歯科相談 | 栄養相談 | 子育て相談 | 尿検査 |
|------|------|------|------|------|------|-------|-----|
| 乳児前期 | ○ | | | ○ | ○ | ○ | |
| 乳児後期 | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | |
| 1.6歳 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 3歳 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※3歳児は目と耳の検査もあります。(事前に自宅で行います。)

☆対象のお子さんには、事前に母子推進員が案内通知と問診票を配布します。

※体調が悪いときや風邪症状がある際は、下記までご連絡ください。

医療保健課 49-2234・49-5000

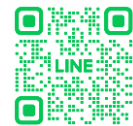
症状や対処法、受診の
目安など困ったときは
こちらを参考に！

小児救急電話相談

#8000

平日：19時～翌朝8時

土日祝日：24時間対応



小児オンライン相談

子どもの三大夏風邪に注意！

① 手足口病

手足、口の中に水疱性の発疹が現れて、1～3日間発熱することがあります。4歳までの幼児を中心に夏季に流行します。感染経路は主に経口感染、飛沫感染があります。手洗いをしっかり行うことが予防のために重要です。



② ヘルパンギーナ



39℃以上の熱が1～3日つづくと同時に、のどが赤く腫れて小さな水疱がたくさんできます。水疱は2～3日で潰れて黄色い潰瘍になります。のどの痛みが強いので、食事や飲み物を受けつけなくなることから脱水症状にも気をつけましょう。

③ 咽頭結膜熱(プール熱)

アデノウイルスの感染により、発熱(38～40度)が数日から1週間続き、のどの痛み、目の充血やかゆみができます。プールでの接触やタオルの共用により感染することもあるので、プール熱と呼ばれることもあります。



★三大夏風邪にかかってしまったときの対処法★

- ・刺激のあるものは避けて、のどごしの良い冷たい飲みものを与えましょう。
- ・かまずに飲みこめる、刺激の少ない食べものを与えましょう。
- ・病院を受診しましょう。早めに受診して診断を受けることで、保育所や学校に注意喚起をすることができ、感染の広がりを抑えることにつながります。

登園・登所の目安はこちらから！

手足口病P54 ヘルパンギーナP58 咽頭結膜熱P46

